



3月11日、宮城県三陸沖を震源とした国内観測史上最大のM9.0の地震が発生いたしました。

この東北地方太平洋沖地震によりお亡くなりになられた皆様に、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

また、負傷された皆様および被災された皆様、被災地にご家族やご親戚、お知り合いのいらっしゃる皆様に、

心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りしております。

この巨大地震および付随して発生した大津波等により、住宅関連業界も全国的に混乱している状況となっておりますが、ゼロでは震災後スグより対応を開始し、すでにご契約済みのお客様はもちろん、これから住宅を検討されるお客様にも、できる限りご迷惑をおかけしないよう対策を整えております。

ゼロの現場は すべて元気に動いております。 どうぞご安心ください。



ゼロの100年住宅は、 地震に強い。

今回は大津波の被害がかつてない凄惨なものでしたが、地震の影響でも多くの住宅が倒壊・損壊の被害を受けています。南海地震や東海地震への危機感も高まる中、住宅の構造性能が改めて問われています。ゼロでは、阪神・淡路大震災の教訓もあり、11年前の「住宅性能表示制度」発足当初より、常に大地震にも耐えられる住宅づくりを行ってきました。そこで、あらためてゼロの100年住宅の建物構造を徹底解説します。安心の性能をぜひご確認ください！

『ゼロの100年住宅』における住宅性能評価「構造の安定」

耐震性能【等級3】※標準仕様の場合	最高等級	耐風性能【等級2】※標準仕様の場合	最高等級
■数百年に一度発生する地震（東京では震度6強から震度7程度、阪神・淡路大震災相当）の1.5倍の地震力に対して倒壊、崩壊しない程度		■500年に一度発生する暴風（東京では平均風速35m/s、瞬間最大風速50m/s、1991年19号台風時の宮古島気象台記録相当）の1.2倍の力に対して倒壊、崩壊しない程度	
■数十年に一度発生する地震（東京では震度5強程度）の1.5倍の地震力に対して倒壊しない程度		■50年に一度発生する暴風（東京では平均風速30m/s、瞬間最大風速45m/s、伊勢湾台風時の名古屋気象台記録相当）の1.2倍の力に対して倒壊しない程度	

※ただし、お客様のご要望により取付け変更した場合やその他の事由により、上記の等級をクリアできない場合もございますので、ご了承ください。
◎ゼロの100年住宅は基本的に上記の住宅性能評価を満たしていますが、全ての建物について住宅性能評価を申請しているわけではありません。

『ゼロの100年住宅』建物構造に対するゼロの取り組み

すべての新築物件で 地盤調査を実施 ゼロでは、全ての新築現場においてあらかじめ地盤の調査を行っています。さらに、必要な場合は地盤改良を行い、建物を支える地盤から強化しています。	主要な構造材には EW（エンジニアリングウッド）を使用 建物の要となる壁や柱には、耐水性や圧縮強度、曲げ強度に優れたEW（エンジニアリングウッド）を採用しています。	建物より強化する 接合金物 柱や梁、筋交いの接合部で主要な場所には、公認仕様の金物を使用。接合部を強化して、建物の耐震性を向上させています。
縦・横・斜めからの 荷重に強い「鉄筋入り基礎」 当社施工の住宅は、家づくりの中ですべての基本となる基礎に、縦、横、斜めからの荷重に強い「鉄筋コンクリートベタ基礎」を採用し、建物の耐震性を強化。	骨太の良材をふんだんに使用 「筋交い」での補強も万全 家が歪まないよう強く補強するために、柱と柱の間（壁の裏面）に取り付けられているのが「筋交い」。当社では、この「筋交い」の木材に「太筋交い」を使用しています。	ホールダウン金物の 設置 連続部分にホールダウン金物を使用することによって柱をしっかり固定し、地震、暴風などで建物に力が加った際に柱が土台から引き抜かれるのを防ぎます。

展示場「京都ものがたり」ショールーム棟3階の家づくり工房では、ゼロの建物本体の細部にいたるまでを実物大でご覧いただけます。大地震でも倒壊しない安定した構造を、実際に見て、触れてお確かめ下さい。
納得の家づくり、安心の家づくりをご希望のお客様は、まずはゼロの住宅展示場「京都ものがたり」へ、どうぞお気軽にお越し下さい！お待ちしております！！

ゼロの100年住宅についての詳細は弊社ホームページにてご覧頂けます。
<http://www.zerohome.jp/>